

## 趣旨説明

九州大学 基幹教育院

准教授 小湊 卓夫

それでは、このイベント全体のモデレーターを務めさせていただきます、九州大学基幹教育院の小湊と申します。どうかよろしくお願ひします。

もともとは大学評価担当者集会から始まりましたが、大学評価の中身と、昨今日本でよく言われるようになりまして IR の中身についてはずいぶん繋がっていると、私たちは感じているところがありまして、この大学評価担当者集会でも毎年のように取り上げてきております。そういった意味で、IR の肝心な紹介というのは、日本の中ではほぼ出尽くしていると思っているわけです。

今回はちょっと趣向を変えまして、実際に IR が大学の中でどのような働きをしているのか、特にそれがマネジメントにおいて、どういう役割を持って動いているのか、そういった観点から、今回は指標に焦点を当てて、きょうは少し突っ込んだ勉強会をしたいというふうに思っております。

皆さまには、事前に資料等々は印刷していただくようお願いしていたところですが、実施概要等を見ていただければお分かりかとは思いますが、今回はお二方のお話を予定しております。一人目はミネソタ州立大学機構の藤原さんで、二人目は鳥取大学の犬野さんです。よろしくお願ひします。あと、このお二人以外にコメンテーターとして、福岡大学の佐藤さん、山形大学の浅野さんです。

アメリカの事例というのは、日本の高等教育の文脈からすると、随分違うところがあって、ちょっと聞いただけでは分からないという点も、多々あるかと思ひます。ですからこのお二方に、補足説明と申ひますか、ちょっと理解の難しいところ等々に、ちょっとコメントをいただきながら、会を進めていきたいと思ひています。

通常の日本のこういう講演会ですと、話を全部聞いた後に質疑を行うという形になりますが、そうすると、なかなか整理がつかないことも多いだろうと思ひますので、皆さんからはぜひ、分からなければその場ですぐ、ご質問、ご意見等を出していただくという形で、途中で話を切りながら、理解を進めていくという形で、このイベントを進めさせていただきたいと思ひています。ぜひ積極的にコメント・ご質問いただければと思ひております。